令和８年度 第１回八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会
会議録

○日時
令和８年８月 28 日（金）　14 時 00 分～15 時 10 分

○場所
ＹＳアリーナ八戸　大会議室

○出席委員（50 音順）
荒木興一委員、荒谷裕子委員、遠藤弘子委員、尾崎元子委員、木村浩哉委員、
東山国男委員、平間恵美委員、松橋崇史委員、宮腰直幸委員、米内正明委員

○事務局
工藤観光文化スポーツ部長、山本観光文化スポーツ部次長兼スポーツ振興課長、
工藤スポーツ振興課スポーツ振興グループリーダー、苫米地スポーツ振興課副参事

次　　第

１　開会
２　委嘱状交付
３　観光文化スポーツ部長挨拶
４　会長及び副会長の選出
５　審議
（１）協議会の概要及び会議の公開について
（２）スポーツ活動に関する市民アンケートの結果について
（３）八戸市スポーツ推進計画の進捗状況について
６　その他
７　閉会

次第　１　開会

司　会　　本日は、御多用のところ、御出席いただきましてありがとうございます。私は、本日司会を務めさせていただきます、観光文化スポーツ部スポーツ振興課スポーツ振興グループリーダーの工藤と申します。よろしくお願いいたします。それでは、ただ今より、令和８年度第１回八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会を開催いたします。

次第　２　委嘱状交付

司　会　　初めに委嘱状の交付を行いますが、今回の改選では、新任の方が１名、再任される方が９名となっております。恐縮ではありますが、お席に委嘱状を事前にお配りしておりますので、これをもちまして委嘱状の交付に代えさせていただきます。

次第　３　観光文化スポーツ部長挨拶

司　会　　続きまして、観光文化スポーツ部長の工藤より御挨拶を申し上げます。

部　長　　皆さん、こんにちは。八戸市観光文化スポーツ部長の工藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。本日は御多用のところ、御出席をいただきまして誠にありがとうございます。皆様には、日頃からスポーツ行政、また、スポーツ施設の管理・運営につきまして、御理解と御協力を賜り、本当にありがとうございます。また、委員就任につきまして、御快諾を賜り厚く御礼を申し上げます。

八戸市では、令和６年３月に八戸市スポーツ推進計画を改定しておりまして、多様な世代の誰もが「する」、「みる」、「ささえる」というそれぞれの関わり方でスポーツ活動に親しみ、さらなる元気なまちづくりが図られるよう、スポーツ施策を推進しているところでございます。

今年度の当協議会は計４回実施する予定でございますが、本日は委員の委嘱後、最初の会議となってございますので、始めに会長、副会長を選出していただき、その後、スポーツに関する市民アンケートの結果やスポーツ推進計画の進捗状況などについて御審議を賜りたいと存じますので、委員の皆様には忌憚のない御意見をよろしくお願い申し上げます。

昨年 12 月、本年４月、６月と、八戸市で大きな地震があり、スポーツ施設も被害を受けております。東体育館は、９月中に改修をして、10 月開催の国スポに間に合うようにするため、スポーツ振興課で作業を進めております。皆様が「する」スポーツの場というものをいかにして確保してい

くかということが重要になってくると思いますので、委員の皆様、よろしくお願いいたします。

結びに、委員の皆様におかれましては、当市のスポーツ振興を始め、広く市政の発展にお力添えを賜りますようお願い申し上げまして、私からの挨拶といたします。どうぞよろしくお願いいたします。

次第　４　会長及び副会長の選出

司　会　　続きまして、当協議会の会長及び副会長の選出に入りたいと思います。当協議会は、八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会規則第５条第１項により、会長が議長となり議事を進めることになっておりますが、会長及び副会長が決まるまでの間、議事の進行につきましては、仮議長として市長代理の工藤部長にお願いいたします。

部　長　　それでは、会長及び副会長が決まるまでの間、仮議長を務めさせていただきます。会長及び副会長につきましては、八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会規則第４条第２項の規定に基づき、委員の互選により定めるとされております。どなたか選出について御意見ございましたらお願いたします。

委　員　　はい、議長。

部　長　　どうぞ。

委　員　　会長については、学識経験者であり、前任期の当協議会会長を務められた宮腰委員が適任であると思います。また、副会長については、同じく、前任期の副会長を務められた、八戸市スポーツ協会の会長である米内委員が適任だと思います。

部　長　　ありがとうございます。ただ今、会長に宮腰委員を、副会長に米内委員を推薦したいという御意見がございましたが、皆様いかがでしょうか。

（拍手で承認）

部　長　　拍手で御承認されました。御二方、よろしいでしょうか。

委　員　　はい。

部　長　　ありがとうございます。それでは、会長と副会長が決まりましたので、私は仮議長としての任務を終わらせていただきます。ありがとうございました。

司　会　　会長から御挨拶をいただきたいと思います。

会　長　　ただ今、職を賜りまして、会長の席に上がらせていただきました。どうぞ、よろしくお願いいたします。この協議会は、八戸市のスポーツ振興のために委員の皆様から御意見をいただくものであります。本日は、スポーツに関する市民アンケートの結果や計画の進捗状況について、皆様から積極的な御意見をいただきたいと思いますので、どうぞ、よろしくお願いいたします。

司　会　　ありがとうございました。それでは、改めまして、審議に入ります前に、本日の出席委員について御報告いたします。本日は委員 10 名、全員の御出席をいただいておりますので、当協議会規則第５条第２項の規定により、本日の会議が成立しておりますことを御報告いたします。続きまして、観光文化スポーツ部次長兼スポーツ振興課長の山本より、当協議会の事務局を御紹介いたします。

次　長　　それでは私から、事務局の紹介をいたします。
まず、私でございますが、観光文化スポーツ部次長兼スポーツ振興課長の山本でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
スポーツ振興課スポーツ振興グループリーダーの工藤でございます。
スポーツ振興課副参事の苫米地です。
以上、よろしくお願いいたします。

司　会　　続きまして、本日の資料を確認いたします。資料一覧にございますとおり、次第、委員名簿、席図、説明資料として、資料１八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会について、資料２スポーツ活動に関する市民アンケートの結果について、資料３八戸市スポーツ推進計画の進捗状況について、以上となりますが、資料の漏れなどはございませんか。
それでは、会長、議事進行をお願いいたします。

会　長　　それでは、次第に沿って審議を進めます。次第の５（１）当協議会の概要及び会議の公開について、事務局より説明をお願いします。

事務局　　それでは、協議会の概要及び会議の公開について、私から御説明いたします。資料１「八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会について」を御覧願います。まず、１、目的についてですが、当協議会は、スポーツを通じた人材の育成、健康寿命の延伸、スポーツ産業の振興による地域の活性化に向け、八戸市スポーツ推進計画等について調査審議することを目的としてございます。

次に、２、審議内容についてですが、３項目ございまして、（１）八戸市スポーツ推進計画について重要な事項の調査審議に関すること、（２）スポーツによる人材育成、健康づくり及びまちづくりの推進に関し必要な事項について意見を述べること、（３）体育施設の将来的な整備の方向性について調査及び検討し意見を述べること、となってございます。

次に、３、委員の構成につきましては、（１）から（６）までの分野により構成されており、委員の皆様それぞれの分野及び所属につきましては、委員名簿に記載してございます。

次に、４、委嘱期間及び会議の開催回数についてですが、委嘱期間は令和 10 年８月 27 日まで、会議につきましては、今年度は４回予定してございます。

次に、５、令和８年度の主な案件についてですが、まず、（１）八戸市スポーツ推進計画に関する意見聴取は、年１回、毎年継続して行うものでございまして、今年度は本日、審議（２）、（３）で御説明し、御意見を伺いたいと考えてございます。

次の（２）八戸市体育施設整備に関する基本方針の改定と、（３）八戸市体育館の建て替えに関する基本計画の改定は、今年度のメインのテーマでございまして、詳しくは次回協議会で御説明いたします。

次に、６、今年度のスケジュールについてですが、次回の協議会は９月 29 日火曜日に予定しており、八戸市体育施設整備に関する基本方針の改定案について審議する予定としてございます。その後、11 月中旬の３回目で八戸市基本計画の改定案についての審議、１月中旬の４回目の会議で基本方針及び基本計画の改定案について、御審議いただきたいと考えてございます。

１枚おめくりいただきまして、次の資料は当協議会の職務、組織等を定めた八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会規則となっております。こちらの規則の説明につきましては、これまでの内容と重複い

たしますので割愛いたします。

次に、会議の公開について御説明いたします。１枚おめくりいただきまして、「附属機関の会議の公開等に関する取扱い」を御覧願います。上から２つ目、第２に会議の公開基準が記載されておりますが、この取り扱いにおいても、附属機関の会議は法令等の規定により非公開とされているものを除き、原則として公開するとされており、また、次の第３において、会議の公開または非公開の決定につきましては、当該会議に諮って行うものとするとございます。

以上のことから、当協議会の審議の内容につきましては、個人のプライバシー等にかかるものではなく、公開することにより附属機関の適正な議事運営に著しい支障が生じるおそれはないものと考えられますことから、事務局といたしましては、会議は原則公開することとし、会議録につきましても、同様に公開することとしたいと考えてございます。

また、会議録の公開の方法についてですが、裏面第６の（２）に記載のとおり、会議資料とともに、市ホームページへの掲載及び市役所内の情報公開コーナーでの閲覧により公開したいと考えてございます。

最後に、会議録の確認方法についてですが、市として規程等があるわけではございませんが、事務局案といたしましては、会長が内容を確認し確定する。また、会長が欠席となった会議につきましては、副会長が確認し確定する方法をとりたいと考えてございます。

協議会の概要及び会議の公開についての説明は以上でございます。

会　長　　ただいま事務局から説明がありましたが、委員の皆様から御意見、御質問等はございますか。

（意見等なし）

それでは、会議の公開については、事務局案のとおり、原則公開とし、会議録について会長の私が、私が欠席した会議については、副会長に御確認いただき公開する。ということで、よろしいでしょうか。

（異議なしの声）

会　長　　ありがとうございます。それでは、そのように進めますので、よろしくお願いします。次に、（２）スポーツ活動に関する市民アンケートの結果について、事務局から説明願います。

事務局　　それでは、スポーツ活動に関する市民アンケートの結果について、御説明いたします。資料２の「スポーツ活動に関する市民アンケートの結果について」を御覧願います。

まず、１、調査概要の（１）目的についてですが、このアンケートの目的といたしましては、する、みる、ささえるというそれぞれの関わり方でのスポーツ活動について、市民の皆様の現状やニーズ等を把握し、スポーツ推進計画の進捗確認、施策の見直し及び改善のために活用するものでございます。

（２）の調査期間は、令和８年６月 26 日から７月 31 日まで、（３）の調査対象、調査方法、回答数についてですが、18 歳以上の八戸市民を対象に、ＷＥＢアンケートにより実施した調査の回答数は 74 でございました。また、市政モニターを対象にした、郵送による調査の回答数は 99 でございまして、合計の回答数は 173 でございました。

次に２の調査結果についてですが、まずは、回答者自身のことについて聞いており、問 1-1、性別については男性が全体の 41.0%、女性が 57.2%、その他が 1.2%、回答しないが 0.6%となっております。

次に問 1-2、年齢については、10 代から 70 代以上まで御覧のとおりとなっておりまして、40 代が 27.7%と最も多くなっており、次いで 50 代が 23.7%でございます。

２ページを御覧願います。問 1-3、職業についてですが、会社員等が 39.3%と最も多く、そのほかは御覧のとおりとなっております。問 1-4 は居住地域、問 1-5 は市内の居住年数でございまして、御覧のとおりとなっております。

３ページを御覧願います。問 1-6 は現在の健康状態について聞いており、左側の円グラフが集計結果でございます。「どちらかといえば健康である」が 45.7％と最も多く、次いで「健康である」が 39.3%、「どちらかといえば健康でない」が 9.8%、「健康でない」が 5.2%となってございます。

問 1-7 は、現在、運動不足だと思うかについて聞いており、右側のグラフになりますが、「運動不足である」が 41.0％と最も多く、次いで、「どちらかといえば運動不足である」が 32.4％、「どちらかといえば運動不足でない」が 16.2%、「運動不足でない」が 10.4%となってございます。

また、参考までに問 1-6 と 1-7 のクロス集計結果を下の表にまとめており、「健康である」と答えた人の 29.4%が「運動不足である」、30.9%が「どちらかといえば運動不足である」と答えており、およそ３分の２の

人が運動不足を感じている結果となっております。また、「どちらかといえば健康でない」と答えた人の 64.7%が「運動不足である」、23.5%が「どちらかといえば運動不足である」と答え、「どちらかといえば健康でない」と答えた人は、「健康である」と答えた人よりも、運動不足だと考えている人の割合が多い結果となっております。

４ページを御覧願います。次は、「する」スポーツについての質問でございます。

まず、問 2-1 では、過去１年間でおこなったスポーツについて聞いており、スポーツを１度でもおこなった人は全体の 93.1%、おこなわなかった人は 6.9%となっております。スポーツをおこなった人について、年代別では、10 代、20 代、60 代が 100%、70 代以上では 95.7%、50 代が 92.7%、40 代が 93.8%、最も低い年代は 30 代の 82.1%となっております。また、右上の表は、令和７年度のアンケート結果との比較となっており、スポーツをおこなった人の割合は、70 代以上では 24.3%、60 代では 16.7%、40 代では 15.7%、50 代では 1.5%増加しており、30 代は 1.9%減少しております。

次に、過去１年間におこなったスポーツの種類についてですが、「ウォーキング」の回答数が 130 と最も多く、次いで、「トレーニング」53、「ランニング」40、「体操・ダンス」35、「屋外球技」28、「水泳」25、「屋内球技」24、「氷上競技」14 などとなっております。また、その他では、自転車、乗馬、登山、健康教室で体を動かすといった回答がございました。

５ページを御覧願います。問 2-2 はスポーツの頻度、問 2-3 は１日あたりの時間を聞いており、頻度につきましては、「週に１～２日」が 32.3%と最も多く、次いで、「週に３～６日」が 22.4%、「月に１～３日」が 21.1%、「年に１～数日」が 16.8%、「毎日」が 6.8%となっております。また、１日あたりの時間は「30 分～１時間」が 43.5%と最も多く、次いで、「１～２時間」が 33.5%、「30 分未満」が 11.2%、「２～３時間」が 9.9%、「３時間以上」が 1.2%となっております。

参考までに、問 2-2 と 2-3 のクロス集計結果を下の表にまとめており、スポーツの１日あたりの時間と頻度の関係を見ると、「30 分～１時間」を「週３～６日」、「週１～２日」おこなった人が 20 人と最も多く、次いで、「30 分～１時間」を「月１～３日」が 17 人となっております。

６ページを御覧願います。問 2-4 は、問 2-3 で選んだ１日あたりのスポーツの時間についてどのくらい継続しているかを聞いており、「1 年以上 5 年未満」が 32.3%と最も多く、次いで、「1 年未満」が 26.7%、「10 年以

上」が 25.5%、「5 年以上 10 年未満」が 14.9%となっております。
問 2-5、2-6 は、2-4 でスポーツをおこなった時間帯と場所を聞いており、時間帯については、「平日昼間」が 34.1%と最も多く、次いで「休日昼間」22.2%、「平日夜間」17.1%、「平日早朝」12.3%、などとなっております。

また、スポーツをおこなった場所は、「自宅・自宅周辺」が 38.7%と最も多く、次いで「公共スポーツ施設」18.8%、「公園・広場」13.2%、「民間スポーツ施設」11.1%、などとなっております。

７ページを御覧願います。問 2-7、2-8 では、スポーツをおこなった理由と形態を聞いており、理由については、「健康・体力づくり」30.1%と最も多く、次いで「運動不足の解消」26.6%、「楽しみ・気晴らし」19.9%、「友人・仲間との交流」7.9%などとなっております。その他としては、「ダイエット」、「ボディメイク」、「仕事」、「犬の散歩」、「家族が会員になっているから」などがございました。

また、スポーツをおこなった形態については、「個人」の回答数が 116 と最も多く、次いで「家族と」が 57、「友人と」が 33 となりました。前回までのアンケートでは「個人・家族・友人と」を一つの選択肢としておりましたが、今回はそれぞれ分けて聞いております。次いで「有志のクラブ等」と「民間スポーツクラブ等」が 13、「地域のクラブ等」が 8 などとなっており、その他としては「旅行の企画で」、「個人の先生主催の教室」などがございました。

８ページを御覧願います。問 2-9、2-10 では、スポーツをおこなわなかった人に対し、スポーツをおこなうことへの妨げになっているもの、スポーツをおこなうことへの今後の予定を聞いており、妨げになっているものとしては「お金に余裕がない」、「スポーツが苦手・嫌い・興味がない」の回答数が 5 と最も多く、「病気・怪我・高齢でできない」「家庭が忙しい」「仕事が忙しい」などが続いております。その他としては「スポーツをする気がない」などがございました。

スポーツをおこなうことについての今後の予定については「どちらともいえない」が 50%と最も多く、次いで「妨げが解決したらスポーツを始めたい」が 33.3%、「今後もスポーツをするつもりはない」が 16.7%となってございます。

９ページを御覧願います。問 3-1 からは「みる」スポーツについて質問してございます。

まず、問 3-1 は過去１年間でアマスポーツも含めた、直接会場でのスポーツ観戦の頻度を聞いており、その頻度は「年に１～５回」が全体の

23.7%と最も多く、次いで「月に１～３回」が 12.7%、「週に１回以上」5.8%、「年に６～10 回」4.6%となっております。また、「観戦していない」は 53.2%ございました。

スポーツ推進計画において、数値目標としている「アマスポーツも含めたスポ―ツ観戦率」についてはこのアンケート結果を利用しており、「年１～５回」から「週に１回以上」までの合計の観戦率を算出し、令和７年実績値 46.8%となりまして、令和５年からは、10.3%減少したものの、令和６年からは 3.3%増加し、目標値を 19.8%上回る結果となってございます。

10 ページを御覧願います。問 3-2、3-3 は、先ほどの 3-1「会場でスポーツ観戦した人の中」で、プロ以外のスポーツを観戦した頻度と理由を聞いており、こちらの問は、新規のものになります。プロ以外のスポーツを観戦した頻度は、「年に 1～5 回」が 39.5%と最も多く、次いで「月に 1～3 回」が 11.1%、「週に 1 回以上」「年に 6～10 回」が 9.9%、また、「観戦していない」は 28.4%となっております。

プロ以外のスポーツを観戦した理由については、「家族や知人が出場している」の回答数が 33 と最も多く、次いで「そのチームが好き」が 32、「そのチームや選手を応援している」が 13 などとなっております。

11 ページを御覧願います。問 3-4、地域プロスポーツチームの中で知っているチームを聞いており、その認知度といたしましては、「ヴァンラーレ八戸ＦＣ」が 94.2%と最も高く、「青森ワッツ」が 85.5%、「東北フリーブレイズ」が 77.5%、「八戸ダイム」は 30.6%、「どのチームも知らない」は 5.2%となってございます。

次に、問 3-5 では、会場で観戦したことのあるホーム戦、問 3-6 ではテレビ等で観戦したことのあるホーム戦を聞いており、その観戦状況といたしましては 12 ページにわたりますが、会場での観戦では、「ヴァンラーレ八戸ＦＣ」が 17.3%と最も高く、次いで「東北フリーブレイズ」8.7%、「青森ワッツ」4.0%、「八戸ダイム」2.9%となっており、「どのホーム戦も観戦しなかった」は 72.3%でございました。

また、テレビ等での観戦では、「ヴァンラーレ八戸ＦＣ」が 25.4%と最も高く、次いで「東北フリーブレイズ」9.8%、「青森ワッツ」3.5%、「八戸ダイム」1.7%となっており、「どのホーム戦も観戦しなかった」68.8%でございました。

次に、問 3-7 では、観戦した理由を聞いており、「そのスポーツが好き」が 44 と最も多く、次いで「そのチームや選手を応援している」32、「家族や友人に誘われた」12、「チケットがあった、もらった」10、など

となっております。
13 ページを御覧願います。問 3-8 では、観戦して感じたことを聞いており、「気分転換、ストレス解消ができた」と「チームや選手に親近感をもった」が 33 と最も多く、次いで、「元気が出た」31、などとなっております。
次に、問 3-9 では、会場とテレビ等での観戦のどちらが多かったかを聞いており、それぞれのホーム戦における会場とテレビ等の観戦割合は、ヴァンラーレ八戸ＦＣが「会場」51.1%、「テレビ等」48.9%、東北フリーブレイズは「会場」54.2%、「テレビ等」45.8%、青森ワッツは「会場」69.2%、「テレビ等」30.8%、八戸ダイムは「会場」「テレビ等」が 50%ずつとなっております。
14 ページを御覧願います。問 3-10 では、プロスポーツを観戦していただくために必要なことを聞いており、必要なこととしては「市民割引等の特典の充実」が 27.9%と最も多く、次いで「シャトルバス等の移動手段の充実」が 21.9%、「チームとの交流機会の充実」14.1%、などとなっております。その他としては、「駐車場の確保」、「遠方までの交通費の援助」、「子ども向けイベントの同時開催」、「試合の情報をテレビＣＭで放映」、「有名有力チームとの交流戦」、「チームを知り興味に繋がる情報の提供」、「チームが強くなること」などがございました。
15 ページを御覧願います。ここからは、「ささえる」スポーツについての問となっております。
まず、問 4-1 は、過去１年間におこなったスポーツに関するボランティア活動について聞いており、「ボランティア活動をおこなった」は全体の 22.0%、「ボランティア活動をおこなわなかった」は 75.7%となっております。
ボランティア活動をおこなった人の活動内容といたしましては「大会・イベントの運営や世話をした」の回答数が 15 と最も多く、次いで「自身や家族が所属する団体・クラブ等での補助的な活動」が 13、などとなっております。
次に、問 4-2 は、どんな動機づけがあれば、ボランティア活動を続けたりおこなったりするかを聞いており、
16 ページにわたりますが、ボランティア活動に必要な動機づけといたしましては、「好きなスポーツの普及・支援」の回答数が 58 と最も多く、次いで、「地域での居場所、役割、生きがい」54、「報酬」が 53 などとなってございます。また、「どんな動機づけがあってもおこなわない。」は 28 となっております。

次に、問 4-3、4-4 では、スポーツに関する資格の保有について聞いており、スポーツに関する資格の保有状況は、「保有している」が全体の 6.4%、「保有していない」が 90.8%、「回答しない」が 2.9%となっております。
また、保有している資格名については、16 ページの下段に記載しているとおりでございます。
アンケートの結果については、以上でございます。

会　長　　ただいまの説明に関して、何か御意見、御質問等はありましたらお願いします。

委　員　　基本的なところなのですが、例えば、7 ページ「スポーツを行った理由」が、円グラフで表示されていますが、こちらは複数回答なので、ｎ＝161 が回答数となっているのに対し、円グラフ用いるのは適当ではない。他の複数回答可の円グラフで割合を表示している個所は、同じことが言えるので、標記の仕方を修正した方が良いと思います。
また、毎年同じ調査対象としているのか。市政モニターは分かるのですが、ＷＥＢアンケートは対象者をどのように抽出しているのでしょうか。

事務局　　調査対象は、市内在住の 18 歳以上の市民としており、毎年同じです。ＷＥＢアンケートは、市内在住の 18 歳以上ということで募っていますが、あくまで自己申告制になります。

委　員　　承知しました。

会　長　　数字の表記の仕方については、事務局、どうですか。

事務局　　御指摘いただいた数字の表記の仕方につては、見直して改めます。

会　長　　他に何か御意見、御質問等ありますか。

委　員　　９ページのスポーツ推進計画の数値目標、アマスポーツも含めたスポーツ観戦率の目標値 27 パーセントはどのように設定したのですか。

事務局　　この計画を策定したのが平成31年の３月になりますが、同時期に国も同じ調査をして数値目標を設定しており、その数値に倣ったものです。

会　長　　よろしいですか。他になければ、審議（３）八戸市スポーツ推進計画の進捗状況について、事務局から説明願います。

事務局　　それでは、八戸市スポーツ推進計画の進捗状況について御説明いたします。

資料３「八戸市スポーツ推進計画の進捗状況について」を御覧ください。この資料は、八戸市スポーツ推進計画を抜粋した概要版となっております。

まず、このスポーツ推進計画についてですが、本計画は、平成31年３月に策定し、５年後の令和６年３月に改定しております。この度、令和７年度の状況を追加しまして、進捗状況を更新した形になっておりまして、お配りした資料では更新箇所を赤字で表記しております。本日は、最新の進捗状況を報告する趣旨でございますので、変化のない部分につきましては、簡潔に述べるに留めさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

まず、基本方針は、（１）スポーツを「する」機会の充実、（２）スポーツを「みる」文化の醸成による賑わいの創出を地域活性化、（３）スポーツを「ささえる」多様な人材の育成となっておりまして、次ページをお開き願います。基本目標は、（１）スポーツを「する」機会の充実、②目標達成のための施策、―１誰もがアクセスできるスポーツ活動の促進、３ページに参りまして、―２スポーツを通じた健康増進、―３プロスポーツチーム等との連携による競技力の向上、―４八戸市体育館の建て替え等のスポーツ施設の適切な整備及び運営、４ページに参りまして、③実施中の事業でありますが、令和元年度から記載しており、令和７年度は赤字で表記し更新しております。

ジュニアアイスホッケー交流事業。苫小牧市のアイスホッケージュニア選抜チームとの交流試合等を通じて、両市の連携・交流を推進という内容で、決算額は０円。令和７年度は、12月８日の地震による事業中止のため執行はありませんでした。

スポーツ賞等表彰事業。本市スポーツの振興・発展に貢献した個人・団体を表彰。令和７年度決算額は207千円。

レスリングのまち推進事業。かおりカップスーパーキッズレスリング選手権大会を青森県レスリング協会と共同で開催。令和７年度は 686 千円。

５ページに参りまして、スポーツ少年団運営支援事業。スポーツ少年団対抗のスポーツ少年大会の運営に要する経費の一部を補助。令和７年度 66 千円。

地区体育振興事業。八戸市スポーツ協会が行う地区体育振興事業に要する経費の一部を補助。令和７年度 280 千円。

氷都八戸パワーアッププロジェクト。小学校スケート教室等への指導者派遣、スケート教室の開催及び中学競技者のスケート用具の購入に要する経費の一部を補助。令和７年度は 3,051 千円。

各種スポーツ大会運営補助事業。市総合スポーツ大会の開催及び市内で開催される全国大会の開催に要する経費の一部を補助。令和７年度は 2,178 千円。

６ページに参りまして、競技大会選手等派遣補助事業。国際大会や全国大会及び市町村対抗県民スポーツ大会や北奥羽総合体育大会への派遣費用の一部を補助。令和７年度は 5,086 千円。

第 80 回国民スポーツ大会事業。開催に向けた各種準備。令和６、令和７年度はスポーツ振興課から分離した国民スポーツ大会準備室（令和７年度から国スポ・障スポ推進室に改称）による執行。令和７年度は 182,713 千円。

フラットアリーナ利用促進事業。ＸＳＭ　ＦＬＡＴ八戸株式会社との間で締結した協定書に基づき、営業時間のうち 2,500 時間を市が借上げ、市民に貸し出し。令和７年度 110,000 千円。

スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議運営事業。スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会を開催し、八戸市スポーツ推進計画の進行管理等実施。令和７年度 81 千円。これは、令和６年度に比べ協議会開催回数の減によるもの。

７ページに参りまして、スポーツコミッション支援事業。産業経済団体、スポーツ団体及び市の 13 団体で令和４年４月に創設しており、合宿補助金等を交付。令和７年度 3,591 千円。

スポーツ施設整備事業。市内スポーツ施設の整備等を実施。令和７年度 184,559 千円。

新体育館整備事業。令和４年度に策定した「八戸市体育館の建て替えに関する基本構想」に基づき、基本計画等を策定。令和７年度 30,299 円。

施設の維持管理経費。市内スポーツ施設の維持管理を実施。令和７年度 718,406 千円。

８ページに参りまして、④数値目標ですが、こちらはスポーツ施設の利用者数、目標値 1,300,000 人に対しまして、令和７年度は 1,080,730 人。

スポーツ各賞受賞者数、令和７年度は 25 の人と団体で目標値 20 を上回っております。

（２）スポーツを「みる」文化の醸成による賑わいの創出と地域活性化の②目標達成のための施策は、―１スポーツ観戦の促進によるスポーツをみる文化の醸成。―２スポーツ観戦を起点とする賑わいの創出。―３プロスポーツチームと地域産業の連携による地域経済の活性化。―４スポーツ観戦と地域資源を組み合わせたスポーツツーリズムの促進。

③実施中の事業としては、地域スポーツチーム応援事業。プロスポーツチームのホーム戦に市内小学生を無料招待する八戸市民キッズデー等を実施。令和７年度 2,875 千円。

10 ページに参りまして、プロスポーツ観戦者数、令和７年は 115,474 人が観戦しており、アマスポーツも含めたスポーツ観戦率 46.8％は、市民アンケートにもありましたように、目標値の 27％を大幅に上回っている状態であります。

（３）スポーツを「ささえる」多様な人材の育成。②目標達成のための施策は、―１スポーツをささえる多様な人材の育成と活動の場の確保。11 ページに参りまして、―２産学官連携によるスポーツをささえる体制の強化。―３地域プロスポーツチーム等との連携による指導力の向上。―４スポーツ・インテグリティの確保であります。

12 ページに参りまして、③実施中の事業は、スポーツ推進委員研修事業。スポーツ基本法に基づき、スポーツ推進委員を 42 名に委嘱しており、その研修や小学校等へのスポーツの指導のための派遣等を実施しております。令和７年度は 619 千円。

④数値目標は、スポーツ少年団における有資格者の割合ですが、令和７年度は 52.6％で、目標値 70％には届いていない状況であります。

13 ページに参りまして、市の人口の推移の現状として、世代別人口の推移、小学校児童数の推移、中学校生徒数の推移、高等学校生徒数の推移でありますが、記載のとおりです。

14 ページに参りまして、（２）スポーツ施設の利用状況ですが、それぞれの施設の利用者数を記載しております。令和７年度は合計 1,080,730 人が利用しており、令和６年度より増加しております。

15 ページに参りまして、八戸の強みでありますが、（１）氷都八戸として、日本の北部に位置しながら、日照時間が長く、雪が少ない八戸は古くからスケートが盛んに行われており、市民の生活に密着したスポーツとして親しまれております。氷都八戸パワーアッププロジェクトとしては、①幼稚園・保育園及び小学校のスケート教室に対する指導者派遣を実施。令

和７年度の受講者数は 8,057 人。②八戸市スケート教室を開催。令和７年度のスピードスケート受講者は 134 人、フィギュアスケートは 101 人でした。

16 ページに参りまして、（２） ４つのプロスポーツチームの拠点ということで、令和７年度の観戦者数は、①ヴァンラーレ八戸ＦＣが 48,238 人（20 試合）、②東北フリーブレイズが 20,096 人（19 試合）、③青森ワッツが 3,621 人（２試合）。④八戸ダイムは、19,096 人（４試合）になっております。

資料の説明は以上でございます。

会　長　　ただいま事務局から説明がありましたが、皆様から御意見や御質問がありましたらお願いします。

委　員　　はい。２ページ②目標達成のための施策の１、誰もがアクセスできるスポーツ活動の促進で、地域スポーツクラブに関する情報の一元化とあり、とても良いことだと思いますが、この中の「～公立中学校における休日の部活動の地域移行等を見据え～」とありますが、現在は、地域移行という言葉は使っていない。「地域展開」、「地域連携」という表現になっているのでそちらに訂正した方がいいのではないかと思います。小学校は既に学校の部活動から地域のクラブチームとか保護者が主体となったものに移行しているわけですが、市・県・国でスポーツ活動における平日のスポーツ時間の目安だとかリスクだとかが分かりにくくなっているという課題もあります。

地域移行すればいいという考えではなくて、あくまでも地域連携・地域展開ということで、学校とスポーツ団体等が上手く連携して子どもたちのより良いスポーツ活動を目指していくというふうにした方が良いのではないか。地域移行等と言う言葉がちょっと引っ掛かりました。

会　長　　事務局から何かございますか。

事務局　　はい。スポーツ推進計画の改定時「地域移行等」という表現を使いましたが、市教育委員会でも昨年度から委員おっしゃるとおり、「地域展開」と用語を変えておりました。「地域移行等」という箇所を「地域展開等」と変えさせていただきたいと思います。また、地域展開に当たっては、様々な課題があるということで、教育委員会の方でも協議しているところでは

ありますが、様々な試行を重ねながら市としても地域展開というものを目指しながら進めているところです。

会　長　　その他、何かございますでしょうか。

委　員　　参考までに教えていただきたいのですが、計画の中で「新規」とあるが、どのようなプロセスを経てこのような「新規」を加えていくのか。例えば協議会の中で修正するのか、上位計画に合わせて修正するのか。

事務局　　この「拡充」、「新規」の表記については、スポーツ推進計画を改定した時に、旧スポーツ推進計画と比べて新たなものは「新規」、そこから拡充するものは「拡充」としたものです。上位計画ではなく、旧スポーツ推進計画と比べてどのようになったかというものであります。

委　員　　修正は事務局で行ったということですか。

事務局　　はい。

会　長　　その他、何かございますでしょうか。

委　員　　「スポーツをささえる人材の育成」だが、先ほどの市民アンケート結果から、「スポーツのボランティアをするつもりはない」という回答が結構な数あった状況ですが、今、国スポを迎えるに当たって、ボランティアの集まり具合はどうなっているか教えてもらいたい。

事務局　　国スポのボランティアですが、市では延べ人数 800 人で進めている。先週募集を締め切ったわけですが、ボランティアの登録者は 214 人、延べ人数でいくと 740 人であると国スポ・障スポ推進室から報告を受けております。国スポの開催については、かなり充足した形で大会に臨めると思います。

会　長　　その他、何かございますでしょうか。

委　員　　５ページのスポーツ少年団運営支援事業だが、以前も質問しましたが忘れてしまったので再度聞きたいのですけれども、令和５年、令和６年が決算額０円になっているのはどういう事情か伺いたい。

委　員　　八戸市スポーツ少年団対抗のスポーツ少年大会の運営に要する経費の一部を補助するということで、市から補助してもらっている経緯がありますが、あくまでスポーツ少年大会の運営経費については、スポーツ少年団の団員登録料、スポーツ指導者の登録料で運営しているということが筋であるので、それでも足りなくなっている場合について市から支援してもらっている。令和５年度、６年度はスポーツ少年団の会計の中で賄えていたということだったと思います。

委　員　　実情としては、補助を受けたいですよね。

委　員　　補助に見合う大会がスポーツ少年団にあるかどうか、それが課題にもなっている。スポーツ少年団として競技を行っている団体も減少しているのが実情です。

会　長　　その他、何かございますでしょうか。

ないようですので、皆様、御意見ありがとうございました。本日の審議は以上となります。

皆様からいただいた意見につきましては、事務局で整理していただきたいと存じます。

次第の６、その他についてですが、全体を振り返ってなど、何か御意見御質問はございますか。

ないようですので、本日の審議は終了いたしました。進行を司会にお返しいたします。

次第　６　閉会

司　会　　ありがとうございました。それでは、次回の会議について、連絡いたします。次回は９月 29 日水曜日を予定しております。詳細につきましては、改めて連絡いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上をもちまして、令和８年度第１回八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会を終了いたします。誠にありがとうございました。